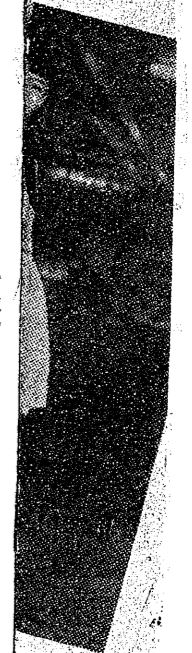


義理人



昭和二十二年二月五日



南方第九陸軍病院復員状況調書

昭和二十二年二月五日
佐世保 陸支局

所属部隊 南方第九陸軍病院
及位置 スマトラ島バレンバン
調製官 陸軍軍醫大佐 鈴木 赴
官氏名 鈴木 赴

一部隊復員業務進捗概況

終戦直後ヨリ銳意復員業務進捗ヲ期シタルモ内地トノ
通信意ノ如クナラス規定等ノ入手困難且上司ヨリ指示モ
皆無ノ状況加フルニ部隊ハ各地ニ分散南島スマトラ唯一ノ
衛生機關トシテ診療業務ハ依然續行尚且駐留地ノ移
動ヲ重テ復員業務進捗モ意ノ如クナラザリシモ昭和二十
二年一月三十日離島ガラム島ニ部先發セシメ同年二月
二回ニ亘リ部隊ノ約三分ノ一ヲ離島セシムル事ヲ得タリ
次デ五月ニ入り二回ノ還送患者ノ飯還ニ伴ヒ護送者トシ
テ一部隊飯還 同年七月二回ニ亘リ女子軍屬並患者護
送員トシテ飯還 同八月部隊ノ長期服務者一四名
ノ飯還 同九月及十月各一回還送患者護送者トシテ十
部飯還セシメタリ

本飯還者ハ總カバレンバンニ撤退ノ爲一部作業隊人員ヲ
殘置十一月八日バレンバンヲ出發セルモコングカポルル
ニ上陸コングロン通過部隊ニ在リテ聯合軍作業ニ從事中
昭和二十二年一月八日バレンバンヲ出發後飯還ス
昨年一月最初離島後概ネ一ヶ月ヲ經過セリ
之ノ間部隊ノ分散ヲ集結駐留地ノ移動ヲ重ネルコト由三
ナラス診療業務ハ依然トシテ續行 聯合軍ノ作業ニ從
事ノ食糧ノ現地自活等日夜ヲ分カカラス努力カシヘリ
又
復員業務ノ進捗ヲ得タリ

人員内地歸還概況
昭和二十二年一月離島ガラム島ニ部先發セシメテヨリ
本復員迄一部隊飯還 患者護送者トシテ飯還等數
次ニ亘リ六百九十五名飯還セリ
飯還日次人員左表ノ如シ

0041

10126

5
104

現地出發年月日	記	事	飯還合員	摘	要
昭和二十年一月三日	ハレンバン出發カラ島離島		二五名	ガラム島ヨリ内地ニ	
二月七日	同		九九名	飯還、月日不明	
二月三日	同		五三名	ナルモ五月頃ト	
五月三日	患病看護送員送患者ト ニテハレンバン出發		三二名	予想ス	
五月三日	同		一六名		
七月六日	部隊一部復員トシテハレンバン出發		二〇一名	(女子軍属主力)	
七月三日	患病看護送員送患者ト シテハレンバン出發		三二名		
八月三日	部隊一部復員トシテハレンバン出發		一一四名		
九月八日	患病看護送員トシテハレンバン出發		一〇名		
十月八日	部隊一部復員トシテハレンバン出發		四一名		
十月八日	部隊主力復員トシテ ハレンバン出發		七二名	本復員者トス	
計			六九五名		

三、残務整理残置人員

四、戦犯容疑者残置人員

昭和二十年十月七日現地ハレンバンニ於テ左記者抑留セラレタリ

陸軍少尉
陸軍衛生軍曹

尚少尉ハ終戦直後軍抑留所ニ兼務、
終戦前馬末俘虜收容所ニ勤務ノ経歴ヲ有ス

五、其ノ他

- (1) 現地ハレンバンニ聯合軍作業隊トシテ將校以下十三名残置ス
- (2) 本復員途上シナガポールニ於テ罹病南方第一陸軍病院ニ入院残置者一名
- (3) 現地ハレンバンニ於テ逃亡未歸隊者三名トス

0042

南方第九陸軍病院復員状況調書

昭和二十二年二月五日
佐世保上陸支局

所属部隊	南方第九陸軍病院	調製官	陸軍軍醫 佐佐木 赴夫
及位置	スマトラ島バレンバン	官氏名	鈴木 赴夫

一部隊復員業務進捗概況

終戦直後ヨリ銳意復員業務進捗ヲ期シタルモ内地トノ
通信意ノ如クナラス規定等ノ入手困難且上司ヨリノ指示モ
皆無ノ狀況加フルニ部隊ハ各地ニ分散南西部スマトラ唯一ノ
衛生機關トシテ診療業務ハ依然續行尚且駐留地ノ移
動ヲ重テ復員業務ノ進捗モ意ノ如クナラザリシモ昭和二十
二年一月三十日離島ガラム島ニ部先發セシメ更ニ同年二月
二回ニ亘リ部隊ノ約三分ノ一ヲ離島セシムル事ヲ得タリ
次テ五月ニ入り二回ノ還送患者ノ飯還ニ伴ヒ護送者トシ
テ一部隊還 同年七月二回ニ亘リ女子軍屬並患者護
送員トシテ飯還 同八月部隊ノ長期服務者一四名
ノ飯還 同九月及十月各一回還送患者護送者トシテ一
部隊還セシメタリ

本飯還者ハ總カバレンバンニ撤退ノ爲一部作業隊人員ヲ
殘置十一月八日バレンバンヲ出發セルモヨシガポールセル
ニ上陸コジエロンニ通過部隊ニ在リテ聯合軍作業ニ從事中
昭和二十二年一月八日コセタレーヲ出發飯還ス
昨年一月最初、離島後概ネ一ヶ月ヲ經過セリ
之ノ間部隊ノ分散ヲ集結駐留地ノ移動ヲ重ネルコト由三
ナラズ診療業務ハ依然トシテ續行 聯合軍ノ作業ニ從
事、食糧ノ現地自活等日夜ヲ分カタズ努力シヘテ日ニ及
ブ復員業務ノ進捗ヲ得タリ

ニ人員内地歸還概況

昭和二十二年一月離島ガラム島ニ部先發セシメテヨリ
本復員迄一部隊還 患者護送者トシテ飯還等數
次三百六十九名飯還セリ
飯還日次人員左表ノ如シ

0043

三、残務整理残置人員

現地出發年月日	記	事	搬運員	摘	要
昭和二十一年一月三日	ハレンバン出發カラ島離島		二五名	カラ島ヨリ内地ニ搬運月日不明ナルモ五月頃ト予想ス	
二月七日	同		九九名		
二月五日	同		五三名		
五月三日	同	患者護送員患者者トシテハレンバン出發	三三名		
五月五日	同		一六名		
七月六日	同	部隊一部復員トシテハレンバン出發	二〇一名	(女子軍属主力)	
七月二十日	同	患者護送員患者者トシテハレンバン出發	三三名		
八月五日	同	部隊一部復員トシテハレンバン出發	一一四名		
九月八日	同	患者護送員トシテハレンバン出發	一〇名		
十月八日	同	部隊一部復員トシテハレンバン出發	四一名		
十月八日	同	部隊主力復員トシテハレンバン出發	七二名	昭和二十一年十月七日ハレンバン出發トシテ	
計			六九五名		

四、戦犯容疑者残置人員

昭和二十一年十月七日現地ハレンバンニ於テ左記者抑留セラレタ
 陸軍少尉 陸軍衛生軍曹
 尚 少尉ハ終戦直後軍抑留所ニ兼務、
 終戦前馬來俘虜收容所ニ勤務ノ経歴ヲ有ス

五、其ノ他

- (1) 現地ハレンバンニ聯合軍作業隊トシテ將校以下十三名殘置ス
- (2) 本復員途上シニガホルニ於テ罹病南方第一陸軍病院ニ入院殘置者一名
- (3) 現地ハレンバンニ於テ逃亡未歸隊者三名トス